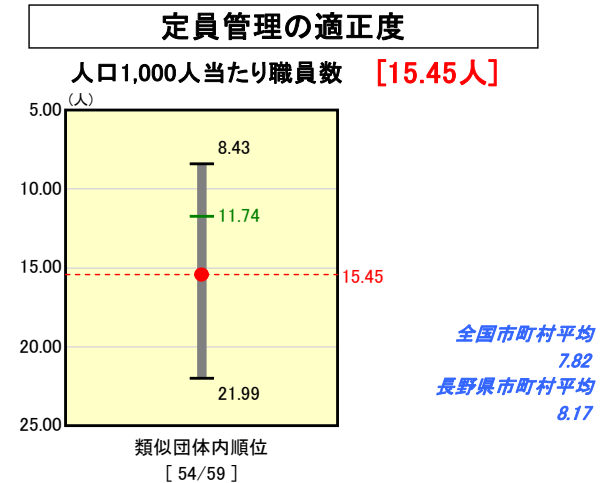
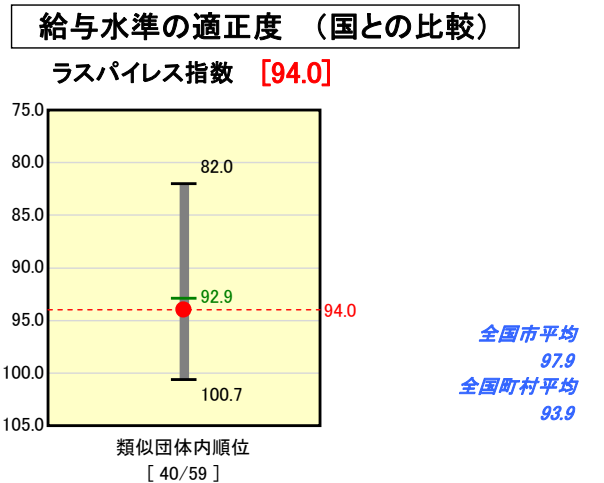
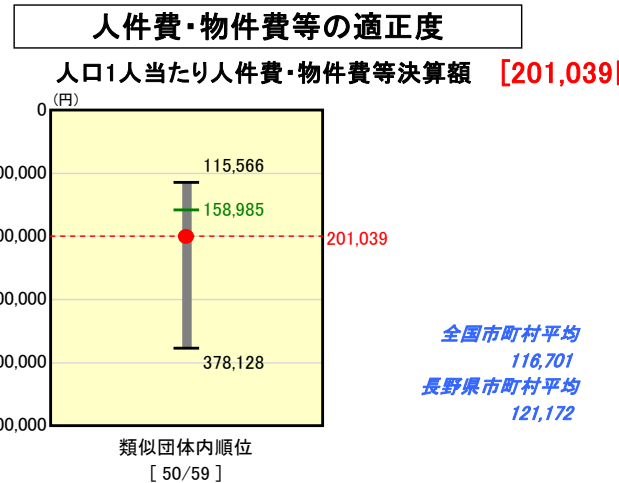
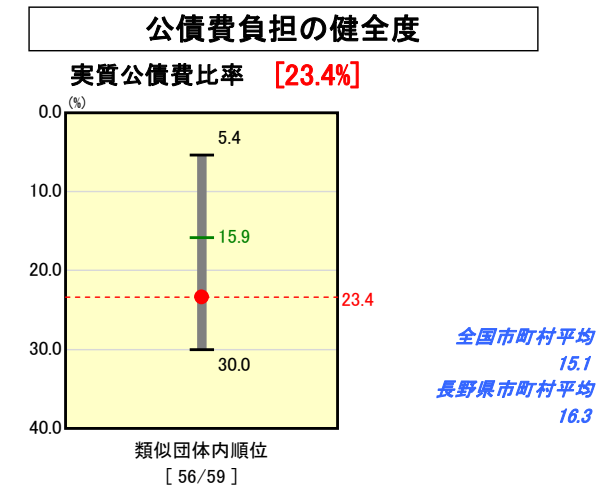
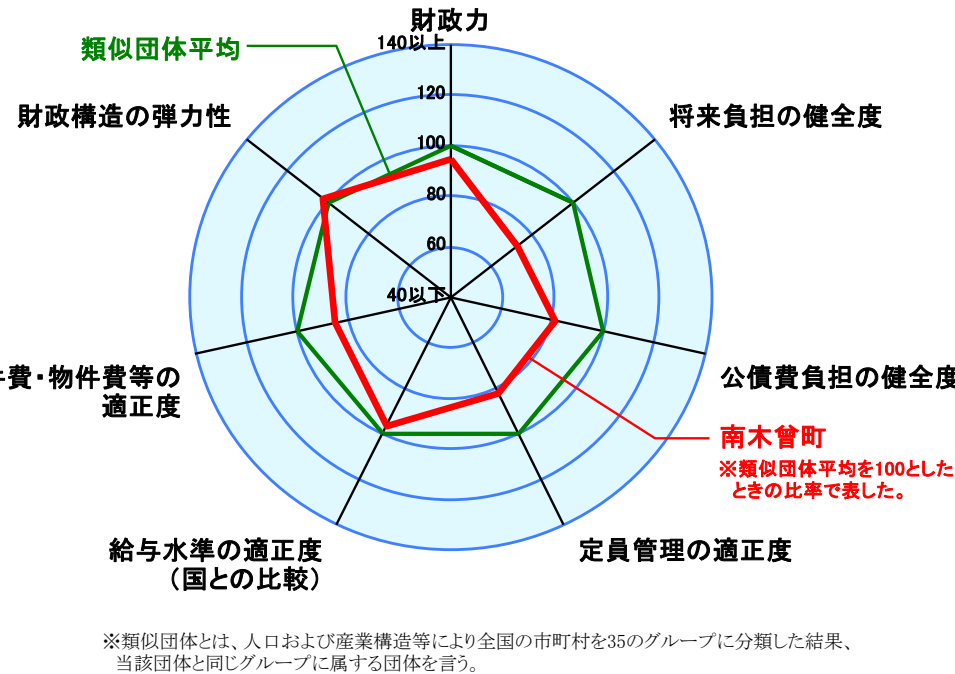
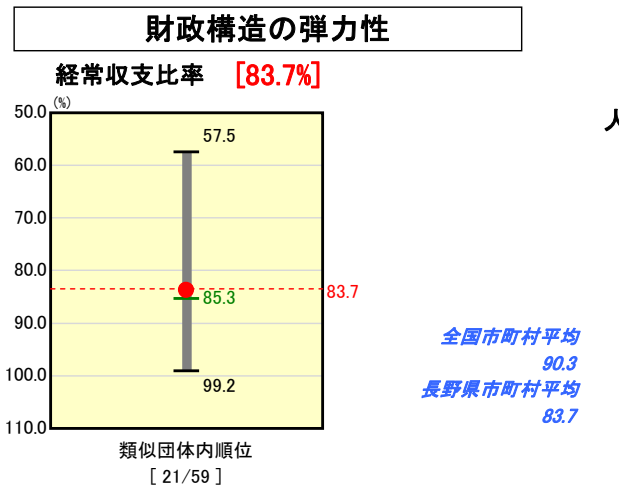
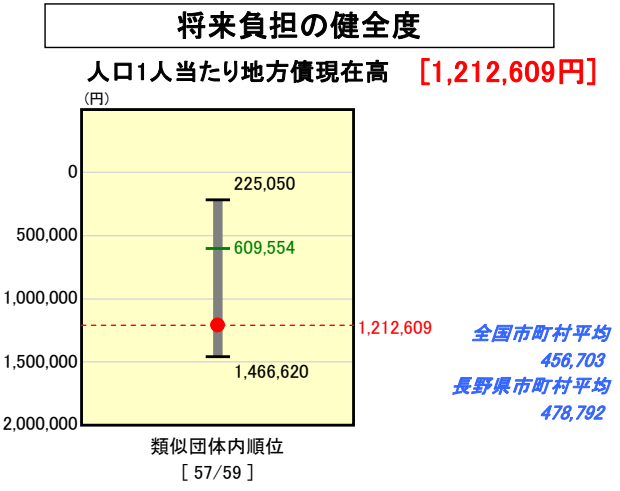
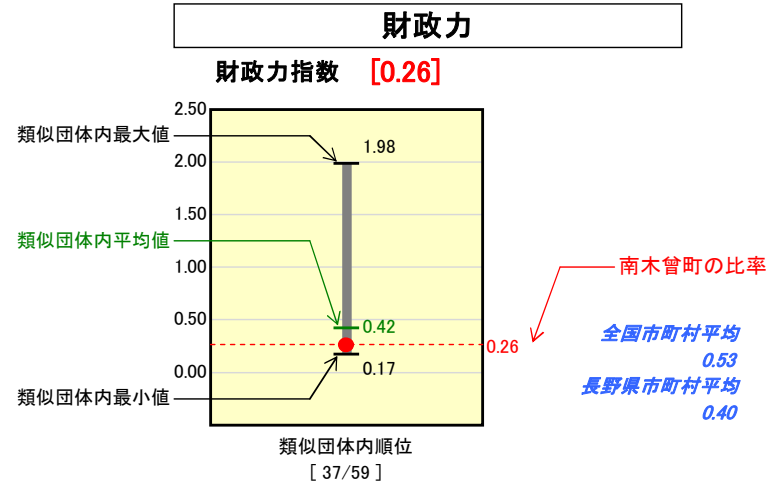


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 長野県 南木曾町

人口	5,112 人(H19.3.31現在)
面積	215.96 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,828,448 千円
歳出総額	3,757,254 千円
実質収支	69,626 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- 財政力指数**  
・人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年国調35%)に加え、町内の基幹産業が低迷していること等により、財政基盤が弱く類似団体平均を下回っています。自立推進計画に沿った事務事業の見直し、施策の重点化に努め、活力あるまちづくりを展開しつつも行政の効率化に努めることにより財政の健全化をめざします。
- 経常収支比率**  
・税率改定、公債費の減(31,778千円削減)により類似団体平均並みとなっています。制度改正に伴う福祉関係経費や公営企業公債費繰出等により、今後も高い水準での推移が続くおそれがあり、人件費の削減、公債費の繰上償還など行財政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努め、財政の弾力化を図っていく必要があります。
- ラスパイレース指数**  
・給与体系の見直しをしていますが類似団体平均をわずかに上回っています。職員年齢構成が高くなっていることもあり、定員管理の適正化に努めることにより類似団体平均の水準を維持します。
- 実質公債費比率**  
・平成8年度までの地域総合整備事業の償還終了等により減額傾向にあります。しかし、公営企業会計への公債費繰出が高くなっていることもあり、町債の発行制限、繰上償還等を進め18%以下となるよう公債費の削減を図ります。
- 人口1人当たり地方債現在高**  
・当町は集落の点在率が大きく、それに伴う道路等の基盤整備のため過疎債及び中学校改修に伴う義務教育施設整備事業債、13年度からの臨時財政対策債のウェイトが高くなっています。また、今後の大型事業として南木曾小学校の改築、三留野地区の下水道整備等があり、引続き町債の発行抑制や繰上償還による減額により起債残高の減少を図ります。
- 人口1,000人当たり職員数**  
・学校・保育所等の施設数が多いことや妻籠宿保存対策等には見られない特殊事情があるため数値が高くなっています。平成19年度からの小学校の統合や事務事業の見直しにより職員数の削減を図ります。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
・類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっています。これは主に小学校・保育所等施設が多いことによるもので、小学校の統合、民間委託の推進等事務事業の見直しによりコストの低減を図ります。